

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 26年												平成 27年												平成28年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~10日
カンピロバクター	88	76	99	111	317	231	172	180	153	151	118	98	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	27
病原性大腸菌	104	69	71	83	113	99	81	62	68	71	161	207	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	43
腸管出血性大腸菌	1	0	1	0	0	1	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	9	5	3	10	13	28	13	15	2	0	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	24	9	2	13	27	20	24	34	37	20	21	28	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	11	5	10	9	14	20	13	12	12	9	11	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	0	0	2	0	1	2	4	2	0	0	1	2	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0
ロタウイルス	1	3	2	7	4	1	0	0	0	0	1	1	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	1
アデノウイルス	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	1
ノロウイルス	151	71	68	29	5	5	0	0	0	1	0	53	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	8

広島県感染症発生動向週報

平成28年第1週(1月4日~1月10日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	12	結核	12	1		3	2	5	1		
三類	0	発生なし	0								
四類	3	デング熱	3			1		1	1		
五類全数	7	ウイルス性肝炎(A, E型を除く)	1					1			
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1							1	
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1			
		侵襲性肺炎球菌感染症	1								1
		後天性免疫不全症候群	1					1			
		梅毒	2						1		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第1週 1/4~1/10)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

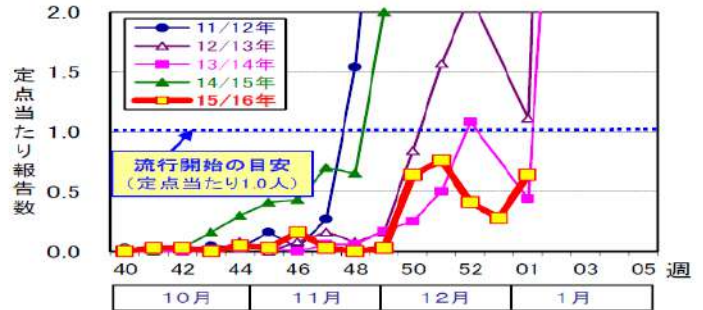
定点医療機関から23人(定点当たり0.64人、迅速診断キット:A型陽性17人、B型陽性6人)の報告がありました。

例年、学校が始まると急激に患者が増加するため、1~2週のうちに流行開始の目安である定点当たり1.0人を超えると予測されます。

手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防を心がけましょう。

前週(2015年第53週)は、定点医療機関の年末年始休診の影響により報告数が少なくなっているため、2016年第1週の各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示は、前々週(2015年第52週)との比較で行っています。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	
小児科	インフルエンザ	23	0.64	2.69	△	小児科	流行性耳下腺炎	47	2.04	0.42	△	
小児科	咽頭結膜熱	14	0.61	0.16	△	眼科	RSウイルス感染症	21	0.91	0.62	△	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.83	0.57	△		急性出血性結膜炎	-	-	-	-	
	感染性胃腸炎	174	7.57	6.30	△		流行性角結膜炎	8	1.00	0.59	△	
	水痘	13	0.57	1.35	△		細菌性髄膜炎	-	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.08	△		無菌性髄膜炎	-	-	0.12	-	
	伝染性紅斑	41	1.78	0.08	△		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.29	△	
	突発性発しん	4	0.17	0.22	△		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.04	△		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	-	△							

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	5	男性(20歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人、女性(90歳代)・2人
4	デング熱	1	1	女性(30歳代)・市外・推定感染地域:国外
5	ウイルス性肝炎	1	1	男性(20歳代)・B型
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	女性(70歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	1	男性(40歳代)・感染者
5	梅毒	1	1	女性(30歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	上気道炎 咳嗽	0	男	2015/11/13	咽頭拭い液	ライノウイルス
RSウイルス感染症	発熱(39.6) 気管支炎	1	男	2015/11/20	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(39.7) 気管支炎	2	女	2015/11/21	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	上気道炎 気管支炎	0	男	2015/11/23	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱 下気道炎	0	男	2015/11/25	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	上気道炎	0	女	2015/11/25	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(38.0) 上気道炎 気管支炎	0	男	2015/11/26	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(40.6) 気管支炎 熱性痙攣	1	男	2015/11/30	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(38.7) 下気道炎 肺炎	0	男	2015/12/01	咽頭拭い液	ライノウイルス RSウイルス
RSウイルス感染症	上気道炎 気管支炎 嘔吐 下痢	0	女	2015/12/03	鼻汁	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(37.8) 上気道炎 咽頭炎	0	男	2015/12/04	咽頭拭い液	RSウイルス
無菌性髄膜炎	嘔吐 頭痛 髄膜炎	6	女	2015/07/29	髄液	コクサッキーウイルスA9型
その他の呼吸器疾患	上気道炎 喘息	15	男	2015/11/24	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.6) 気管支炎	11	男	2015/11/26	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.3) 肺炎	0	男	2015/11/27	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	不詳	0	女	2015/11/27	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 肺炎 細気管支炎	2	男	2015/11/29	鼻汁	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	喘鳴	4	女	2015/12/04	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	喘鳴	2	男	2015/12/04	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	4	男	2015/12/21	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ
その他の疾患	不詳	1	女	2015/11/05	咽頭拭い液	A型肝炎ウイルス2型
その他の疾患	発熱(40.0) 気管支炎 肝機能障害	2	女	2015/11/26	鼻汁	EBウイルス